

## 29. 腹腔内にみられた奇形腫(Teratoma in abdominal cavity)

誌名	鶏病研究会報
ISSN	0285709X
著者名	三橋,加世子
発行元	鶏病研究会
巻/号	40巻4号
掲載ページ	p. 240
発行年月	2005年2月

農林水産省 農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター  
Tsukuba Business-Academia Cooperation Support Center, Agriculture, Forestry and Fisheries Research Council  
Secretariat



## 鶏病カラーシリーズ

### 29. 腹腔内にみられた奇形腫 (Teratoma in abdominal cavity)

キーワード：プロイラー、腹腔内腫瘍、奇形腫

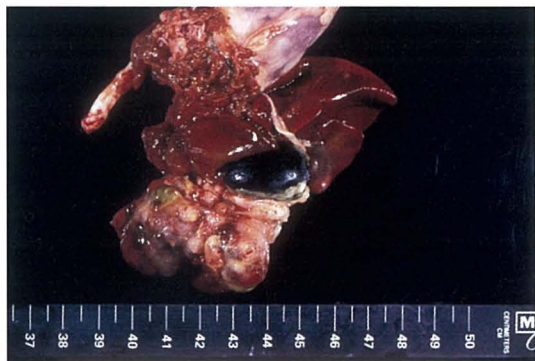


写真 1. 脾臓および肝臓に結合組織でつながった腫瘤。腫瘤は柔らかく、表面は赤色で血液が貯留していた。

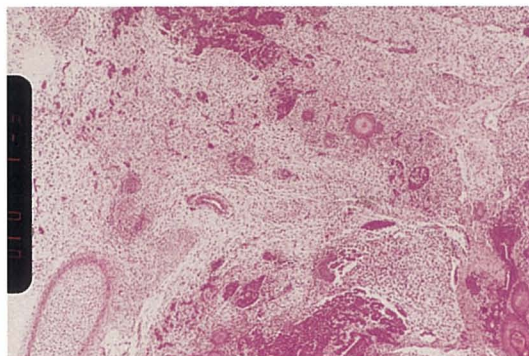


写真 2. 重層扁平上皮が癌真珠を形成している部や、軟骨が認められた (HE 染色)。

動物：プロイラー、性別不明、61 日齢

発生状況および症状：1 ロット 4,016 羽中の 1 羽。生体所見は著変なし。

肉眼所見：内臓摘出後、脾臓および肝臓に結合組織でつながった 2×2×2 cm 大の不整形腫瘤を認めた。腫瘤は柔らかく、表面は赤色で血液が貯留していた (写真 1)。断面は液体を含んだ小嚢胞が数個存在していた。その他の臓器には著変は認められなかったが、生殖腺が見られず性別が確認できなかった。

組織所見：腫瘤には杯細胞を持つ消化管上皮様構造、神経組織、軟骨、骨、脂肪組織、筋組織等様々な組織が混在していた。また、扁平上皮様の細胞が見られ癌真珠が形成されていた (写真 2)。病原検査は実施していない。

解説：奇形腫とは三胚葉由来の腫瘍であり、多潜能を有する胚細胞が初期の胎子の発生や発育の過程で取り残され、独自にいろいろな成熟組織に分化を遂げたものとされている。卵巣・精巣が好発部位である。しかし今回の症例は生殖腺が確認出来ず、性別と原発巣は不明である。組織像では PAS 陽性の杯細胞を持つ単層円柱上皮や癌真珠、神経組織、骨など内・外・中の三胚葉の組織が混在していることから、奇形腫と診断した。